

法

111

豪州タウンズビル事情概要

附 帝國領事館設立請願書

外務省通商局編

301026-000-2

法-111

豪州「タウンズビル」及「シドニー」事情概要

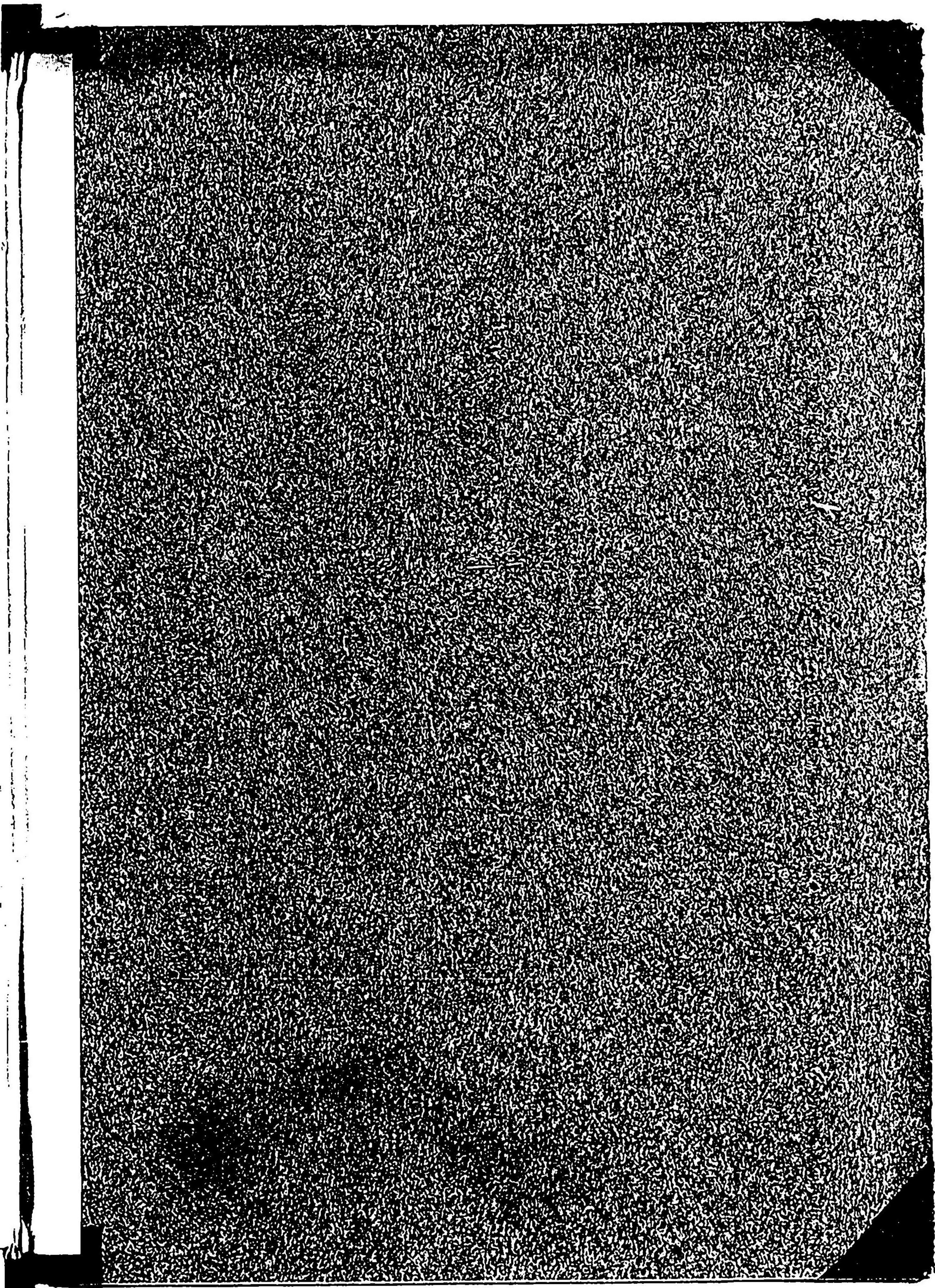
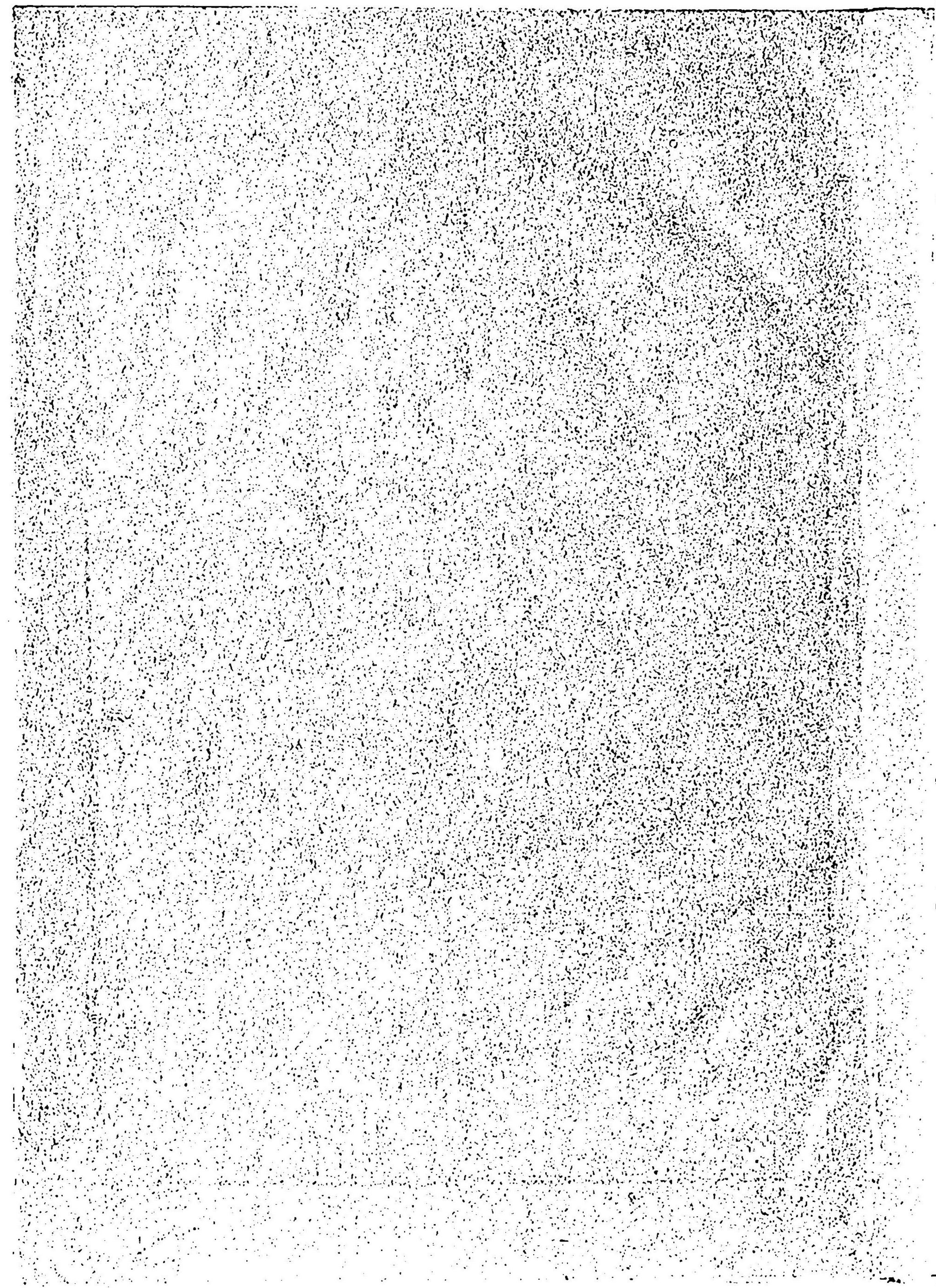
外務省通商局／編

M27

BCD-0004









# 目次

## 濠洲「タウンズビル」事情概要

○ 面積及人口	二丁
○ 交通	三丁
○ 氣候	同丁
○ 市街概況	同丁
○ 商工業	四丁
○ 物産	同丁
○ 本邦關係	五丁
○ 濠洲「タウンズビル」事情概要	一丁

## 附録

○ 帝國領事館設立請願書





濠洲タウンスピル事情概要

「タウンスピル」ハ濠洲大陸ノ東海岸南緯十九度十分十秒東經百四十六度五十七分五十六秒ニ位シ「ブリズベーン」ヨリ北西ノ方凡ソ八百七十哩ニアリクインストランド「殖民地」エルブヒンストン州内ノ一市ニシテ濠人ハ該地ヲ北クインストランドノ首府ト異名ス蓋シクインストランドハ通俗ロツクハムプトンヲ以テ南北ノ境界トナシ「タウンスピル」其以北ニアルヲ以テナリ

船隻出入頻繁ニシテ

（統計ノ材料今蒐集中ニ係ル千八百九十年ノ出入總噸數五十三萬八千二百七噸アリト云フ）濠洲沿岸ノ各社定期

船會社及英國同盟船會社倫敦ヨリ「ギアス、リビンストン」會社香港ヨリ

「ゲーション」會社及「イーストルン、エンド、オーストラリアン」船會社

テ貨物ノ上下ハ築港ノ工事未ダ落成ヲ告ゲザルガ故船脚深キモノハ「クリ」

ブランド灣ニ投錨シ船ノ便ヲ假ルナリ而シテ此地ハ元クインストランド西部及西北部ニ在ル一大地方ノ要衝ヲ占ム是レ碇泊ノ不便ナルニ拘ハラズ出入ノ船舶多キヲ致ス所以ナリトス

鐵道ハ「タウンスピル」ヨリ南下シテ「ヒウエンデン」ニ到ル即チ濠人ノ所謂北方

濠洲タウンスピル事情



鐵路ナルモノ是ナリ其延長凡ソ二百三十六哩支線一箇所西三分レテ「ラベン  
スウード」ニ達ス此北方鐵路ニ沿フ所ノ停車驛三十九箇所アリ其一ナル「チャー  
トルス、タウア」ハ「クインズランド」内無二ノ金鑛アルヲ以テ有名トス

○面積及人口

「タウンスピル」本市ハ二千〇八十「エトクル」市外近在ヲ合シテ八千「エトクル」  
アリ人口ハ本市七千八百六十名近在ヲ合スレバ凡ソ一萬一千四百八十六名  
アリ蓋シ此統計ハ明治十九年ノ調査ニ係ルヲ以テ現今ハ大ニ増加シタルハ  
ルベシ

○氣候

「タウンスピル」本市ノ氣候ノミヲ特ニ記載シタルモノヲ得ズト雖モ「クオ  
スランド」全般ノ氣候ヲ概言セバ其ノ一半ハ熱帶圈ニ屬シ暑熱強烈ナリ然レ  
ドモ地勢内地ハ高ク又沿岸ハ定位ノ海風アルヲ以テ同緯度ノ他地方ニ比ス  
レバ清涼ニシテ衛生上ニ適セリ南北「クインズランド」ノ境界線トモ稱スベキ  
「ロウクハムプトン」ハ冬季大約六十五度（華氏）夏季八十五度ナリト云フヲ以テ  
推ストキハ「タウンスピル」ハ該地以北四百五十哩許船程凡ソ晝夜半赤道ノ方  
ニ近キガ故ニ「ロウクハムプトン」ヨリ多少高度ハ暑熱アリトシテ大差ナカ  
ルベシ

○市街概況

「タウンスピル」本市ハ「ロウクス」河ニ沿ヒ道路延長七十一哩市内住宅建物一  
千八百九十七個、不動産登記評價格十二萬五千八百一十二磅（現今本邦ノ百六萬四千圓餘）市内發行ノ新  
聞紙日刊五種週刊二種アリ

○商工業

工藝製造ハ新開地ノ常トシテ未ダ甚ダ振ハズ工場ノ重ナルモノハ石鹼製造  
所製氷場、製鐵工場、瓦斯會社各一、釀酒場二箇所アルニ過ギズ商業ハ工業ノ幼  
稚ナルガ故輸出ハ大抵未製品ニシテ輸入ハ各種ノ製造品ナリ今輸出入表ヲ  
據ルベキナキヲ以テ其數ヲ知ル能ハズト雖ドモ外國トノ直接貿易ハ固ヨリ  
「ブリスベーン」ノ盛ナルニ及バズ明治廿二年中該地ノ船舶噸數八十三萬一  
千六百十四噸此貿易價格四百三十萬七千九百八十七磅ニシテ每噸五磅三志  
ニ値レリ此比例ヲ以テ「タウンスピル」ノ船舶噸數五十三萬八千二百十七噸ニ  
乗ズルトキハ二百七十四萬四千九百〇六磅ニシテ現今ノ爲替相場ニ依レバ  
二千三百三十三萬圓餘ノ貿易價格ヲ得ルナリ然レドモ本地ハ定期郵船ノ寄港  
場トシテ出入スルモノ甚ダ多キヲ以テ實際ニ於テハ貿易ノ價格必ズシモ出  
入ノ船舶ニ伴ハザルヲ以テ其實數ハ前記ノ計算ヨリモ遙カニ少ナカルベシ  
畢竟適當ノ統計材料ナキヲ以テ參考ノ爲メ假リニ之ヲ算出セシノミ



○物産

「タウンズビル」市ヲ屬スル「エルズベーン」州ハ牧畜ヲ以テ主要ノ農事ト  
ス而レモ其近隣ニハ甘蔗、玉蜀黍等ノ産甚ダ多シ又本市ヨリ鐵路ノ交通アリ  
地方ニハ有名ノ鑛山アリ所産少ナカラズト云フ蓋シ「タウンズビル」ハ一個ノ  
市ニシテ貨物集配ノ地ナルヲ以テ固ヨリ特有ノ物産ニ乏シ

○本邦トノ關係

「タウンズビル」ハ本邦ヨリ濠洲ニ到ル定期郵船ノ寄港スル所ニシテ香港以南  
第四ノ寄港場トス（第一「ボルト」タルウ井ン、第二「サリス」本邦出稼人ノ甘蔗栽培ニ從事ス  
ルモノ本地ヨリ南北二百哩内ニ在リテ其數五百六十名餘十耕區ニ分レテ勞  
働セリ又右ノ定約労働者ヲ除キ本邦人ノ多ク渡航セル地方ハ「ボルト」タルウ  
井ン「サリス」デイ「島」クックタウン」ノ三地ニシテ「タウンズビル」トノ距離ハ左ノ  
如シ（但シ參考ノ爲メ「サリス」トノ距離ヲモ掲出ス）

第一	クックタウン	百八十哩	「タウンズビル」ヨリ海路	「サリス」ヨリ海路
第二	サリスデイアイランド	七百三十哩		
第三	ボルト、タルウ井ン	千三百八十哩		

左ニ本市ノ屬スル「クインズランド」州ノ概況ヲ摘記スベシ

第一 地勢

「クインズランド」ハ濠洲ノ東北部ヲ占メ凡ソ六十六萬八千二百二十四平方哩  
ノ面積ヲ有セリ東西八百哩南北壹千三百哩ナリ本州ハ大別シテ三部ト爲ス  
北部、中部及南部是ナリ沿岸二千五百五十哩ノ長キニ亘リ其間無數ノ港灣島  
嶼アリ島嶼ハ殊ニ北部ニ多シ海岸ヲ距ル凡ソ五十哩ニシテ山脈アリ沿岸ニ  
並行シ海岸山脈ト稱ス山脈以西ハ土地概シ高原ニシテ氣候稍々冷カナリ本  
州ヲ分ツテ十二區トス左ノ如シ

(一)「モルトン」地方 此地方ハ本州ノ東南ニ在リテ金及穀類ヲ産出シ甘蔗ノ  
栽培玉蜀黍ノ耕作ニ適セリ

(二)「ダーリング」地方 此地方ハ牧畜ニ宜シク又農作ニ適セルヲ以  
テ耕地多シ

(三)「バルネツト」及「ワイドベ」地方 此地方ハ多ク牧畜行ナハル、所ナリト  
イヘモ又熱帶地産物ニ富ム棉花砂糖ノ如キ其顯著ナルモノナリ

(四)「ボルト」カ「ルチ」地方 此地方ハ金、銅及大理石ヲ産出ス

(五)「ライヒ」地方 此地方ハ最モ牧畜ニ適シ且農産物金屬類ニ富メリ

(六)「マラノア」地方 此地方ハ概シ高原ニシテ牧畜ニ適スルノミ

(七)「ケ子デ」地方 此地方ハ「タウンズビル」市所在ノ地ニシテ砂糖、玉蜀黍及



棉花ノ生産ニ最モ適セリ且家畜ノ飼養盛シニ行ハル

(八)ワレゴ地方 此地方ハ單ニ牧畜ニ適ス

(九)バルク地方 此地方ハ牧畜ニ適シ且金銅ヲ産ス

(十)ミツチモル地方 此地方ハ單ニ牧畜ニ適ス

(十一)グレゴリ地方 此地方モ亦牧畜ニ適ス

(十二)クツク地方 此地方ハ金、錫、砂糖、及材木ヲ産ス

第二、氣候

高原ノ地方ヲ除キテハ氣候概シテ炎熱ナリ然レ田圃ヨリ地方ニ依リ其差アリトイヘト要スルニ沿岸ハ内地高層ノ地ニ比スレハ暑熱烈シトス他ノ濠洲殖民地ニ見ル如キ熱風ニ害セラレ、トナシ夏期炎暑最モ烈シキハ十二月、一月、三月ノ三箇月トス「クインスランド」ニ風土病ナク流行病ノ如キ甚ダ稀ナリ能ク歐人ノ身体ニハ適合セリト云フ死亡者ノ割合ハ千八百八十九年ニ於テ一五、四四ニシテ他ノ諸國ニ比スレバ良結果ヲ呈セリ千八百八十九年、ブリスベ「ン」ニ於ケル平均温度ハ六十八度八分ナリ本州ハ八月及三月ノ終ニ於テ二回ノ收穫ヲ爲ストナ得殊ニ高層地方ニ於テ好結果アリ

第三、人口

千八百九十一年四月五日現在ノ人員ハ三十九萬三千七百十八人ニシテ之ヲ

男女ニ區別スレバ男二十三萬三千七百七十九人、女十六萬九千九百三十九人ナリ

在留支那人ハ八千五百七十四人、女子ハ其内四十七人アルノミ、ボリ子「シアン」群島人ハ九千四百二十八人ニシテ男八千五百九十二人、女八百二十六人、他ハ在留外人ハ一千八百四十四人ニシテ土人ハ大凡ソ一萬二千人アルト云フ

第四、産物

本州ノ人民ハ地方ニヨリ各別ニ之ヲ舉レバ北部ニ於テ七萬八千〇七十七人中、部ニ於テ四萬六千八百五十七人、南部ニ於テ二十六萬八千七百八十四人トス

本州ノ農産物ニ富ミ小麥、大麥、燕麥、甘藷、砂糖及葡萄等ノ收穫多シ其産額ハ「エトクル」ニ付平均小麥一五八八、オツセル、燕麥一九四二、アツセル、大麥二一、三四五、蜀黍一七、八四、アツセル、及砂糖一、三六噸等ノ割合ナリ

牧畜盛シニ行ハレ其數年々増加ス千八百八十九年ニ於ケル家畜ノ頭數ハ馬卅五萬二千三百六十四、牛四百八十七萬二千四百十六、羊千四百四十七萬九千五百八十八、豚七百三十ナリ

製糖ノ業日チ進盛シニシテ千八百八十九年ニ於テ甘蔗ノ栽培地ハ四萬七



千八百十三ト四分ノ三「エーグル」ヲ充タセリ其産出高ハ砂糖四萬四千四百十一噸半糖蜜九十四萬二千八百三十七「ガロン」糖水酒十二萬九千二百二十八「ガロン」ナリ

本州ノ鑛業又大ニ見ル可キモノアリ金屬ノ採掘大ニ行ハル當時金鑛ノ數廿有餘ニ達シ登記シタル鑛業會社ハ二百六十餘アリ鑛産ノ主要ナルハ金銅錫及石炭ニシテ其他鐵「アンチモニー」「マシガニース」及「ダイヤモンド」「ルビー」等ノ寶石ニ乏シカテズ

眞珠採取業ハ本州ノ北部ニ於テ盛ンニ行ハレ其地方ハ「ウエー」「ウヰール」「アルパニー」「アイランド」「ゼルピス」「アイランド」「ソーマーセツト」「グード」「アイランド」「エンドボル」「ストレート」「フライデー」「アイランド」「プリンス」「チブ」「ウエールス」「アイランド」「ボゼシヨ」「アイランド」及「サーズデー」「アイランド」ニシテ多クノ「スクーナル」(兩桅船)ヲ用ヒテ此業ニ從事スルモノアリ或ハ潜水器ヲ以テ或ハ潜水者ヲシテ採貝セシム潜水者ニハ多ク土人南海群島人「マレー」人支那人等ヲ僱ヘリ

海鼠漁業ハ「バリ」「エリ」「フ」「マレー」「デー」「ランド」及「ダーン」「レー」「アイランド」ニ於テ行ハル海鼠ノ採集ニハ多クノ人ヲ使用シ重ニ「マレー」人南海土人日本人濠洲土人「アラビヤ」人ヲ僱使スルモ「ア」如シ千八百八十九年ニ於ケル眞珠貝ノ輸

出總價額ハ六萬六千五百四十一磅ニシテ同年ニ於ケル海鼠輸出ノ金高ハ一萬八千三百四十九磅ナリ眞珠貝一噸ノ價ハ凡ソ百十磅ニシテ海鼠一噸ノ價ハ四十磅乃至九十磅ナリ

牡蠣ハ「モレトン」「ベー」及「サンデー」「ストレート」ニ於テ盛ンニ培養セラル千八百八十九年ニ於テ輸出シタル其總價額ハ一萬七千〇四十八磅ニ達シタリ

第五 輸出入

千八百八十九年ニ於ケル輸出總價額ハ六百九十萬九千六百六十九磅ニシテ輸入總價額ハ五百九十四萬六千六百一十一磅ナリ其重ナル輸出品ハ本州ノ産物若クハ製造品ニシテ錫銅銀金糖水酒砂糖獸脂獸皮漬肉菓物牡蠣海鼠眞珠貝及材木等ナリ輸入品ハ重ニ製造品ニシテ米國ヨリ輸入スルモノ多シ農具家具ノ如キ其著シキモノナリ

第六 交通

電線ノ架設備ハリ濠洲各地及「ニュー」「ジー」「ランド」ニ通ズ「プリンス」「ペー」ヨリ北千四百二十五哩ヲ距ル「カーペンタリヤ」「灣口」「カルム」「バ」及「サーズデー」「アイランド」ハ千五百五十哩ヲ隔テ首府「ブリスベーン」市ト連絡セリ千八百九十一年ニ於ケル電信線ノ長サハ九千九百七十三哩ニ達セリ郵便事業亦大ニ進ミ同年ニ於ケル郵便局ノ總數ハ九百〇三ナリト云フ







碇繋ニ甚ダ便利ナリ河ハ港口ニ沿ヌタル河川ニシテ水底深ク七哩  
ノ間ハ大艦巨船モ自由ニ航行スルヲ得

當府ノ初メテ創設セラレタルハ千七百八十八年ニシテ距今百五年ナリ其創  
立ノ際ハ家屋構造ノ如キ固ヨリ一定ノ規模ナク各人ノ隨意ニ任セシカバ  
市街不紀律極マリシガ晩近ニ及ビテ市區改正ヲ施シ面目ヲ一新セシヲ以テ  
秩序整然タル美觀ヲ呈スルニ至レリ

去歲千八百五十一年ニ金坑ノ發見有リタル前ニ於テハ當殖民地ノ最重要物  
産ハ羊毛ノ輸出ナリキ蓋シ濠洲ニ於ケル家畜類殊ニ羊ノ繁殖力著シキハ人  
ヲシテ喫驚セシム即チ千七百七十八年ニ英國殖民者ヲ始メテ當地ニ移住ス  
ルニ當リ輸入シタル家畜ノ數ハ僅ニ馬七頭羊廿九頭山羊十九頭豚七十四頭  
ニ過ギザリシモ今日ハ非常ニ其數ヲ増加シ各巨萬ノ多キニ達セリ而シテ其  
初メハ繁殖至テ遅々タリシモ千八百十年以後ハ大ニ其繁殖力ヲ増加セリ此  
ノ事實ハ羊毛ノ輸出額ニ徴シテ明ナリ千八百十八年ニ於テハ其輸出額僅カ  
ニ八萬六千五百二十封度ニ過ギザリシモ千八百六十五年ニ至テハ遽ニ増加  
シテ一億三千三百十萬八千七百七封度トナリ千八百八十六年ニハ其數増加シ  
テ三億四千〇六十九萬千三百八十二封度價格二百三十一萬二千九百八十磅  
トナレリ

千八百五十一年迄ハ今日ノ所謂ビクトリア州モ亦當殖民地ニ付屬セル一部  
分ナリシガ現今ニ至テハ嚴然タル獨立ノ州トナレリ又其北方ニ在ルモルト  
ン州モ千八百五十九年ニ分離シテクイーンズランドノ部分ニ屬セリ  
「ニウ、サウス、ウエルズ」州ノ土地タル農作ヨリハ寧ロ牧畜ニ適スルヲ以テ穀物  
ノ收穫ハ至テ少ナク之ヲ外國ニ仰グノ已ヲ得ザルニ至レリ是レ固ヨリ地味  
其者ニ原因ス可シト雖モ政府ノ政策亦與テ力有リト謂ハザルヲ得ズ初メ政  
府ニ於テ土地ヲ拂下ルニ當リ價值ナキ瘠地「エトクル」ニ付英貨二志ノ高價  
ヲ以テセシカバ之ヲ薄利ナル農作ニ使用スルハ事情ノ許サマル所ニシテ之  
ガ爲メニ殖民及耕作ノ進歩ニ一大障礙ヲ與ヘシカバ政府ハ遂ニ其方針ヲ一  
變シ大ニ移民及農業耕作ハ獎勵ニ力ヲ用非ルトナリ漸ク今日ノ盛況ヲ呈  
スルニ至レリ

當殖民地ノ住民ノ多數ハ非常ニ好酒ノ癖アリ是レ蓋シ當地ニ輸入スル物品  
中酒精類ノ常ニ多額ヲ占ムル元因ナリ  
輸出入ノ關係ハ近年迄ハ輸入額大ニ輸出額ニ超過セリ是レ蓋シ當殖民地ハ  
英國犯罪人ノ流配所タリシヲ以テ其食糧及其他ノ需用ニ供スルガ爲メ夥多  
ノ輸入アリタルガ故ナリ近年ニ至リ罪人流配ヲ廢止セシカバ輸出入ノ平均  
ヲ得テ今日ハ却テ輸出ノ輸入ニ超過スルニ至レリ本年出版ノ統計年表ニ依



レバ當殖民地全体ノ總輸出額ハ二千五百九十四萬四千〇二十磅ニシテ輸入額ハ二千五百卅八萬三千三百九十七磅ナリ其中英本國ニ輸出セシ高ハ千〇十八萬七千七百四十六磅ニシテ英本國ヨリ當殖民地ニ輸入シタル高ハ八百九十九萬九千九百六十九磅ナリ我日本トノ貿易ハ未ダ盛況ヲ呈セザレドモ後來益々好望ナル傾向アリ最近ノ統計ノ據ルベキモノナキヲ以テ暫ラク千八百八十七年ノ統計ニ依ルニ本邦ヨリ該地ニ輸入シタル額ハ五千三百六十六磅ニシテ該地ヨリ我日本へ輸出シタル額ハ僅カニ四百六十三磅ナリ即チ輸入ノ輸出ニ超過スルコト四千九百〇三磅ナリ又本邦ヨリ當地ニ輸入スル主ナル貿易品ハ米穀、製糸、玩弄品、船具、漆品、茶、竹簾、鷄卵等ナリ其他英國ヨリハ製造品、粧飾品、衣服、鐵具、馬具、文房具、書籍、馬車ノ類ニシテ支那ヨリハ茶、印度及「モウリチ」ニス、島ヨリハ砂糖ヲ輸入セリ當地ヨリ外國ニ輸出スル貿易品ハ錫、鉛、銅、脂肪、革、羊毛等ナリ

英國政府ガ本州ヲ其殖民地ト爲セシ最初ノ目的ハ罪人流配所ニ充ツルニアリシガ千八百三十九年以後ハ懲治監人ヲ除クノ外其他ノ犯罪人ヲ輸送スルコトヲ廢止セリ罪人流配制度ノ行ハレタル際該地ニ送致シタル犯罪者ハ其數五萬四千五百八十三人其中四萬七千〇九十二人ハ男子其他ノ七千四百九十一人ハ女子ニシテ皆「シドニ」府ニ輸送セラレタル者ナリ千八百四十六年

ニ於テハ大ニ其數ヲ減シ「ニウ、サウス、ウエルズ」州全体ニ於テ一萬〇五百五十五人トナレリ而シテ其中六千五百人ハ千八百四十八年ニ放免セラレ千八百五十一年ニハ僅カニ千七百〇八人トナレリ而シテ今日ニ於テハ固ヨリ犯罪人ノ輸送アルコトナシ

當殖民地ハ地味膏腴ナラズ加ルニ本國ト隔絶シ移住費用巨額ニ達スルノミナラズ前述スルガ如ク罪人流配所ノ姿アリシカバ殖民事業モ從テ盛大ナラザルベシトハ當初諸人ノ豫想セシ處ナリシモ事實ハ全ク之ニ反シ數年ナラズシテ殖民者大ニ増加スルニ至レリ殖民者ノ多數及流罪者ハ皆男子ナリシカバ遂ニ男女ノ員數ニ一大不平均ヲ生ゼリ是以テ政府ハ在野慈善者ト謀リ未婚婦女子ヲ無償ニテ移住セシメ以テ此不平均ヲ醫正スルコトニ盡力セリ而シテ女子ノ移住ヲ獎勵スルニ當リ成ル可ク善良貞淑ノ者ヲ撰ビシモ時ニ玉石混淆ノ嫌ヲ免カレザリシカバ一時其得失ニ付テ議論囂々タリキ然レモ其人口ノ増加ト道德涵養上ニ及ボシタル効驗著シカリシカバ尙ホ之ヲ繼續スルコト、ナレリ

當地ニ殖民スル者ハ金坑開掘事業ノ外ニ有益ノ點甚ダ多キモ亦之レニ對スル不利點尠カラズ先ヅ其利益ナル點ヲ舉レバ

第一 勞力需用ノ絶ヘザルコト



第二 貨銀ノ割合ニ高キヨ  
 第三 食糧品ノ低廉ナルヨ  
 第四 氣候ノ温和ナルヨ  
 其不利益ノ點ハ

第一 歐洲諸國ト甚ク隔絶スルヨ  
 第二 航海入費ノ嵩ムヨ  
 第三 地價ノ貴キ割合ニ土味豊饒ナラザルヨ  
 第四 旱魃ノ屢々ナルヨ  
 歐洲人ノ加奈太若シクハ北米合衆國ニ移住セズシテ濠洲ニ來住セルハ全ク當地ノ氣候ノ温和ニシテ身体ノ健康ニ善ク適スルガ故ナリ而シテ當地ノ事情ニ深ク通曉スル識者ハ異口同音ニ曰ク此地ニ移住スルモノハ其種類ノ如何ヲ問ハズ又其場合ノ如何ニ係ハラズ必ラズ夫妻同伴ニテ渡航スルヲ可トスト  
 當地ニ於ケル金坑ノ發見ハ「ピクトリヤ」ニ於ケルガ如キ影響ヲ移住ニ及サザリシモ尙ホ大ニ之ヲ誘導スルニ餘リアリキ此ノ金坑ノ開掘事業ハ將來ニ永續スルヤ否ヤハ實ニ目下ノ疑問ニ屬ス然レモ其何レニ決スルモ經濟上ニ及ボス結果ハ同一ナリ何トナレバ若シ金坑開掘事業ノ永續スルニ至テハ之ニ

從事スル労働者ノ數ヲ増加シ從テ彼等ノ食糧品及其他ノ需用品ヲ製造スルモノノ利益ヲ得ルヲ以テ其間ニ勞力需用ノ平均行ハルベシ果シテ然ラバ假令一時農業牧畜業ヲ捨テ競フテ鑛業ニ從事スルモノモ遂ニハ再ビ其本業ニ復歸スルニ至ルベケレバナリ  
 千八百八十一年ニ始テ移住支那人ニ對シ人頭税一人ニ付十磅ヲ科セシガ今日ニ於テハ全濠洲(但シ西部ヲ除ク)ヲ通シ其率百磅ニ至レリ今千八百八十七年ヨリ千八百九十一年迄ノ五箇年間當地ニ於ケル支那人ノ出入ヲ見ルニ左ノ如シ

年 號	入	出
千八百八十七年	四千四百三十六人	二千七百七十三人
千八百八十八年	千八百四十八人	千五百六十二人
千八百八十九年	七人	九百四十一人
千八百九十年	十五人	六百三十七人
千八百九十一年	十七人	五百八十一人

政体ハ千八百五十五年頒布セラレタル憲法ニ據レバ國家ノ政務ヲ行政及立法ニ區別シ行政權ハ行政部ニ立法權ハ國會ニ賦與ス而シテ國會ハ上院下院ヨリ成ル上院議員ハ其數七十一人ニシテ其任命ハ英國皇帝ノ勅任ニ依ル下



一 白耳義國  
一 捷馬  
一 布哇  
一 葡萄牙  
一 伊太利  
一 波斯  
一 一サ、サルバアトル  
一 北米合衆國  
一 三ウ、サウス、ウエルズ、州  
一 歲入表

一 日耳曼  
一 荷蘭陀  
一 秘露  
一 瑞西  
一 瑞典那威  
一 佛蘭西  
一 智利國  
一 地地利洪牙利國  
一 一瑞西

年	號	歲入總額	租	稅	官有地收入	勸業所得	雜收入
千八百八十七年		八、五八二、八一	二、六六四、五四八	二、三七八、九九五	三、二四五、九〇七	二九三、三六一	
千八百八十八年		八、八八六、三六〇	二、六八一、八八三	二、二六八、二五三	三、六六四、一〇〇	二七二、一二四	
千八百八十九年		九、〇六三、三九七	二、六七七、一六九	二、一三七、五六三	三、九二四、九五五	三三三、七一〇	
千八百九十年		九、四九四、五八四	二、七四八、三三九	二、二四三、〇三九	四、一七四、九三八	三二八、二六八	
千八百九十一年		一〇、〇三六、一八五	二、九一六、三四四	二、二六六、六三六	四、六〇五、六七二	二四七、五三三	

右ノ表中租稅ノ項目ニハ海關稅、國產稅、印紙稅、免許稅ヲ勸業所得ノ項目ニハ鐵道郵便等ヨリ生ズル收入ヲ含ム

歲出表

年	號	歲出總額	鐵道電氣 鐵道事業費	郵便電信 事業費	國債利子 及償却費	移民費	教育費	雜支出
千八百八十七年		九、三六一、二五	一、六五七、七六	六、四〇七	一、九三三、二二	三、三三三	七、八〇三	四、四三三、七三
千八百八十八年		八、七六八、八五	一、八四二、九一	六、六七一	一、七五五、六五	七、八〇	六、三三五	三、九〇三、四一五
千八百八十九年		九、三三〇、七	一、七二五、五〇	六、八二二	一、八五七、七〇	八、〇三	六、七三三	四、三三八、四九三
千八百九十年		九、五五三、五三	二、〇三七、一六	六、四八九、九三	一、八九五、六六	五、九一六	七、三三、四八	四、三三、四八一
千八百九十一年		一〇、四七六、六三	二、三三七、〇三	六、四八六	一、九五〇、一六	四、五五	七、九七、六六	四、七四七、六一



(附録)

○帝國領事館設置請願書

濠洲ク非ノスラント州サーズデイ島在留某等頓首再拜謹而書ヲ外務大臣閣下ノ左右ニ奉ル某等竊ニ聞ク我  
 叡聖文武ナル 天皇陛下ハ夙ニ開國進取ノ國是ヲ定メサセラレ在廷ノ大臣ハ常ニ此  
 聖旨ヲ奉戴シテ銳意厲精其實ヲ舉グルニ懈ラズト夫レ開國進取ノ籌策タル素ヨリ一ニシテ足ラズト雖モ廣ク海外諸國ニ交ヲ結ビ普ク通商貿易ノ途ヲ開キ以テ國家ノ富榮ヲ謀ルモノ亦其一ナリ某等不似ト雖モ疾クニ此ニ意ヲ注ギ英領濠洲ニ航シテ拮据黽勉業ニ従フ年アリ商ニ王ニ漸ク進ンデ今ハ乃チ其國人ト相對峙シテ敢テ歩武ヲ讓ラザルニ至ル安ゾ亦暗ニ我 皇ノ德澤ニ浴スルヲ致ス所ニアラザルナキヲ知ラシヤ然レモ某等ハ素ト一個ノ小民辛苦經營僅ニ今日ノ地步ヲ致スヲ得ルト雖モ自カラ我帝國ヲ辱シメザルノ權利ト地位ト有スルモノニアラズ故ニ日常無事ノ間猶ホ或ハ其國人ノ爲ニ凌辱セラレ恨ヲ吞ンデ已ムモノ亦無キニアラズ若シ夫レ一朝事アルノ日ニ方テハ在留數百ハ日本臣民ハ忽チ彷徨自カラ適歸スル所ヲ知ラザルノ悲境ニ陷ラズト然ル而シテク非ノスラント州ニハ今日猶ホ未ダ帝國領事館

〔附録〕 帝國領事館設置請願書



ノ設置アラザルナリ其等局量偏淺愚ニシテ且陋之ヲ思フ毎ニ夙夜沖々々  
聞ク或井クトリヤ州メルボトン府ニ帝國領事館アリト然レドモメルボト  
府ハ貳千哩以外ノ南方ニ在リ山河懸隔道途遼遠設ヒ良吏ノ彼ヒニ臨ムアル  
モ焉ゾ能ク北方ニ按部スルヲ得ンヤ其在ル猶ホ没キガ如シ亦怪シムニ足ラ  
ザルヲ是ヲ以テ某等相議シ相謀リ今此言ヲ進メ又別ニ理由書ヲ副ヘ敢テ  
「ク井ノスラジド州ニ帝國領事館ノ設置アランヲ望ム伏テ冀クハ閣下此情  
ヲ隣ニ天涯萬里ノ異域ニ在留スル帝國臣民チシテ我々等稽首再  
皇ノ如天德澤ニ浴スル猶ホ其本土ニ在ルガ如クナラシメン下チ某等稽首再  
拜謹白」  
明治二十七年一月廿七日  
在留日本人百八拾名總代  
長野縣信濃國南安曇郡明盛村  
貳百八拾番地居住平民

外務大臣陸奥宗光殿閣下

●理由書

第一 現今本島ニ在留スル日本人ハ五百餘名アリ或ハ商業ヲ營ミ或ハ工業  
ニ從ヒ以テ獨立ノ生計ヲ爲ス其勞働ニ服スルモノト雖モ皆チ自由自在ノ  
進退ヲ爲シ彼ノ布哇及新嘉列度尼亞若クハ「ク井ノスラジド」ノ糖業ニ從事  
スル勞働者ノ如ク一種奴隸的契約ニ羈束セラルハモノニアラズ換言スレ  
バ本島在留ノ日本人ハ皆チ獨立自由ノ者ナリ然レドモ近時人口漸ク増加  
シ勢力漸ク進張スルニ至リ此獨立自由ノ好境遇ヲ永ク將來ニ維持シ得  
キヤ否ヤハ確保スベカラザル狀勢アリ爾トナレバ其獨立自由ナルガ故ニ  
人間百般ノ職業ヲ營ミ白人ヲシテ往々後ヘニ瞠若クシムルヲ以テ其無  
智ノ輩ハ日本人ノ行爲ヲ目シテ跋扈跳梁スルモノト爲シ暗ニ敵愾ノ念ヲ  
抱懷スル者ナキニアラザレバナリ而シテ在留日本人ノ狀況ヲ察スルニ敢  
進直前活潑奮厲各々其業務ニ從事シテハ敢テ白人ニ讓ル所ナキニ拘ハラ  
ズ比較上學識經驗ニ乏シキヲ以テ能ク彼輩ト議論ヲ上下シ理非チ主張シ  
日本人ガ當然享有スベキ權利ヲ保持スル者ニ至テハ五百人中之ヲ索メテ  
或ハ得ベカラザルヲ恐ル故ニ猶ホ本島今日ノ狀況ヲシテ其趨勢ニ放從セ  
シムレバ或ハ在留日本人ハ其權利ヲ白人ノ爲メニ蹂躪セラレ其收益ヲ白  
人ノ爲ニ横奪セラレ而シテ其極終ニ支那人ト職ヲ同フシ延テ我日本帝國



ノ威嚴ヲ害スルニ至ルノ恐ナキニアラズ豈ニ是レ拱手默視シテ已ムベキ事ナランヤ若シ我政府ニシテ日本人ノ海外ニ營業スル者ヲ顧ミズト云ヘバ則日マン苟モ然ラズンバ本島ニ領事ヲ置キ國交際普通ノ原則ニ依リ在留日本人ノ當然享有スベキ權利ヲ保護シ以テ其財産ノ安固ト營業ノ自由トヲ完カラシムベキナリ是レ獨リ在留日本人ノ至幸ノミナラズ亦我日本帝國ノ威嚴ヲ海外ニ保有スル所以ノ一ナルヲ信ズ

第二 本島在留日本人ハ皆ナ自費ヲ以テ自由ニ渡航シ自由ニ職業ヲ擇ビ自主ノ生活ヲ爲スモナリ故ニ其進退動作ノ活潑自在ナル彼ノ甘蔗培養ノ爲ニ雇役セラル、一種奴隸的契約労働者ノ比類ニアラザルヲ以テ時ニ或ハ粗暴ノ舉動ヲナスモツナシセバ隨テ其實況ヲ知ラザル者ハ本島在留日本人ヲ目シテ一概ニ無賴ノ徒ノ如ク憶斷テ下スモノアリト聞ク然レモ是レ決シテ然ラザルナリ今現ニ本島在留日本人中自カラ家屋ヲ所有スル者(借宅スル者)貳拾餘人船舶ヲ所有スル者三拾餘人アリ一戸ノ矮屋小舎ト雖モ其建築費ハ貳千圓ヲ下ラズ況ヤ其少シク見ルニ足ルベキモノニ於テチヤ船舶ノ如キニ至テハ一艘ノ價格平均五千圓以上ニ出ヅ而シテ之ニ伴隨スル所ノ商品及家財ノ如キ亦相當ノ價格ヲ有スルハ推シテ知ルベキナリ又別ニ労働ニ從事スル者ノ一年ノ收益概算ヲ擧レバ左ノ如シ

一潜水師

現員五拾人

一八一九年百五十磅乃至二百五十磅

一水夫及網持

現員三百五拾人

一八一九年三十磅乃至四十八磅  
一九〇〇年三十九磅乃至五十二磅  
一九〇一年四十二磅乃至六十四磅

一料理人及小使

現員三拾人

一八一九年二十四磅乃至三十磅  
一九〇〇年二十八磅乃至三十六磅  
一九〇一年三十二磅乃至四十二磅

此概算ニ據レバ労働ヨリ生ズル一年ノ收益潜水師ニ對シテハ一萬一千磅水夫及網持ニ對シテハ一萬三千六百磅料理人及小使ニ對シテハ一千二百六十磅總計貳萬五千八百六十磅ニシテ今仮ニ英貨一磅ヲ銀貨八圓ニ見積リ之ヲ我貨幣ニ換算スレバ實ニ貳拾萬零六千八百八拾圓ノ巨額ニ達ス而シテ若シ之ニ加ルニ彼ノ家屋及船舶ノ價格ト其所有者一年ノ收入及家財ノ價格トヲ以テセバ更テニ數拾萬圓ノ増額ヲ見ルベク即チ本島在留日本人ノ財産ハ常ニ四拾萬圓乃至五拾萬圓ノ巨額ニ達スルモノナリ今ヤ濠洲在留日本人ハ總計一千四百五百人アリト雖モ本島在留ノ五百餘人ヲ除イテハ他ニ此ノ如キ巨萬ノ財産ヲ蒐有スルモノアル乎財産ヲ有スル者ニシテ無賴ノ徒タルモノアル乎決シテ之レアルカザルナリ彼ノ甘蔗培養ニ役使セラル、奴隸的契約労働者ハ一日十時間苛酷激甚ナル労働ニ従ヒ且或ハ鞭撻セラレ或ハ拳蹴セラレ而シテ其得ル所ハ一月僅ニ三拾志ニ過ギズ其賃銀ノ少ナキ其境遇ノ陋劣ナル南洋諸島ノ蠻民ト何ゾ擇バン況ヤ其三拾志ト雖モ其四分ノ二ハ日本ニ送り剩リ二分ノ一ハ拾八箇月間保證



金トシテ雇主ノ手裏ニ付託シ實際自カラ得ル所ハ一箇月僅ニ七志六片ニ過ギザルニ於テチヤ故ニ身体ノ自由ハ今之ヲ言ハズ唯財産ノ一點ヲ以テ之ヲ言フモ彼ノ奴隸的契約勞働者ハ均シクク非シスラントニ在テ其數本島在留ル日本人ニ超過スト雖モ其及ハザル萬分ナリトス此ニ由ル之ヲ觀ハ本島在留ル日本人ヲ以テ一概ニ無頼ノ徒ト爲ス者ハ如キハ自カラ偏見憶測ニ誤タルニシテ本島在留日本人ガ我帝國領事ヲ保護夫得テ詐言ニ欺カレハ而シテ本島在留日本人ガ我帝國領事ヲ保護夫得テ財産ヲ安固ヲ全フゼシトスル事情モ亦之ニ由テ益々明カチテトス

第三 本島在留ル日本人ハ疾久ニ協同團結シテ緩急相救内ニハ各自ノ利益ヲ圖議シ外ニハ白人ノ輕侮ヲ防ギ以テ日本人ノ威嚴ト名譽トヲ保有スルハ必要ヲ感シ嚮ニ同志者相謀ツテ一ノ俱樂部ヲ設立シ其會員今ヤ三百六十餘名ノ多數ニ達シタリ其私事ニ繋ルモノハ言ハズ若シ其公共ノ事ニ就夫之ヲ言ヘバ昨春ク非シスラントニ首府ガリタニシテ大洪水ナルニ際シ率先義捐金ヲ醜集シテ之ヲ其窮民ニ贈リ又昨秋我外務省派遣探檢者渡邊勘十郎ノ渡航スルニ方リ寄附金ヲ醜集シテ其探檢費ノ幾分ヲ補助セシ如キ皆此俱樂部ノ發意決行スル所ナリ而シテ今又方サニ病院ヲ建築スルヲ計畫ヲ爲ス凡ソ此等ノ公事ハ或ハ以テ瑣々ノ小事ト爲ス者アルベシト雖モ亦是レ在留日本人ノ熱心公事ニ赴クノ一斑ヲ證シ且之ガ爲ニ資財ヲ擲ツク餘力アルヲ明ニスルモノニシテ其品位ノ如何ハ自カラ分明ナリルベシ而シテ本島ノ新聞紙ガ偶々日本人ノ品行修マラザル者アルニ方リ其行爲ヲ掲出シテ之ヲ俱樂部ニ訴フト記スルモノアルヲ觀ル亦以テ此俱樂部ガ德義上公安ニ關シテ白人ノ重ナル所ト爲ルヲ知ルニ足ラン

第四 我政府ガメルボーン府ニ領事館ヲ開キ名譽領事ヲシテ濠洲本土ノ五州及ビタスマニヤ島ヲ管轄セシムルハ疾クニ聞知スル所ナリ然レモメルボーン府ハ濠洲本土中南端ノ最小ナルグロフトーリヤ州ノ首府ニシテ現今日本人ノ最モ多ク在留スルグロフトーリヤ州又ハウエストオーストラリア州ヲ距ル各々天涯二千哩ノ偏土ニ在リ曾テ領事館設置ノ當時即チ今チ距ル十餘年前ニ在テハ多少ノ日本人同府ニ在留シ且其最モ隆盛ノ時タリシチ以テ之ヲ領事館設置ニ適當ノ地ト爲セシハ其處置宜シキヲ得タルモノナルベシト雖モ爾來星移リ物換リ十數年後ノ今日ニ在テハ同府在留ノ日本人ハ多クシテ二三十名ニ過ギズ却テ當時隻影ダモ見ザリシグロフトーリヤ州ニハ一千三百餘名ウエストオーストラリア州ニハ三百五十名以上ノ多數ヲ見ルニ至リ其管轄上ノ不便言ラベカラザルモノアルナリ而シテクロフトーリヤ州中日本人ノ最モ多ク一箇處ニ在留スルハ即チ本島

附 錄 帝國領事館設置請願書



ナリトス故ニ領事館設立ノ目的タル其本國人ヲ保護スルモノ亦其一ナリトセバ其保護ニ厚薄ナキハ固ヨリナリト雖也今日ニシテ州在留ノ小數人ヲ保護スルノ急ナルヨリハ寧ロク井ノ州在留ノ多數人ヲ保護スルノ切要ナルヲ認メザルベカラズ而シテ若シ又其保護ノ可及的多數ニ直接普及スルヲ切要ナリトセバ之ヲ本島ニ設立スルニ如カザルナリ然レドモ今ニシテ府領事館ノ事ニ容喙セズ唯其今日彼レニ在テ此ニ無キハ比較上冠履顛倒ノ觀ナキ能ハザルヲ述ベ依テ本島ニ領事館設置ノ必要アルヲ證明セント欲スルノミ

第五 濠洲ノ地タル沃土數千里ニ涉テ而シテ人口稀少足跡ヲ絶スル處多ク海陸ノ遺利遺産ハ空シク土中海底ニ埋没セラレテ而シテ之ヲ拾取スルノ人ニ乏シク其狀恰モ百歲ノ後偉人ノ出ルヲ俟テ世ニ紹介セラレンヲ期スルモノ、如シ又本島ノ東北岸ニ當リ僅ニ一葦帶水ヲ隔テ、「ニウ、ギニ」ノ大島アリ犬牙錯接呼ベバ笑テ應ヘントス而カモ交通猶ホ未ダ全ク開ケズ山海ノ富源荆棘ニ鎖サレテ亡キガ如シ倘シ此兩土ノ富源ヲ開キ其利益ヲ収取スルニ至レバ則本島ハ濠洲全土ノ北門ト爲リ又「ニウ、ギニ」大島ノ咽喉ト爲リ南洋ノ百貨此地ニ輻輳シテ一大貿易ノ中心タルベキハ疑フ所ニアラザルナリ而シテ此要衝ノ地ニ立チ南洋ノ趨勢ヲトシテ我通商貿易ノ

指針タルモノハ誰ゾ今ハ之レアルナシ故ニ本島ニ領事館ヲ設置シ領事ヲシテ此等ノ狀勢ヲ詳悉セシメ以テ他日ノ大計ヲ成スハ亦開國進取ノ一端タルベキヲ信ズ本島ニ領事館ノ設置ヲ望ムモノ豈ニ獨リ目前ノ利益ノ爲メノミナランヤ

(別冊領事館設置請願人姓名簿ハ略ス)





12/34

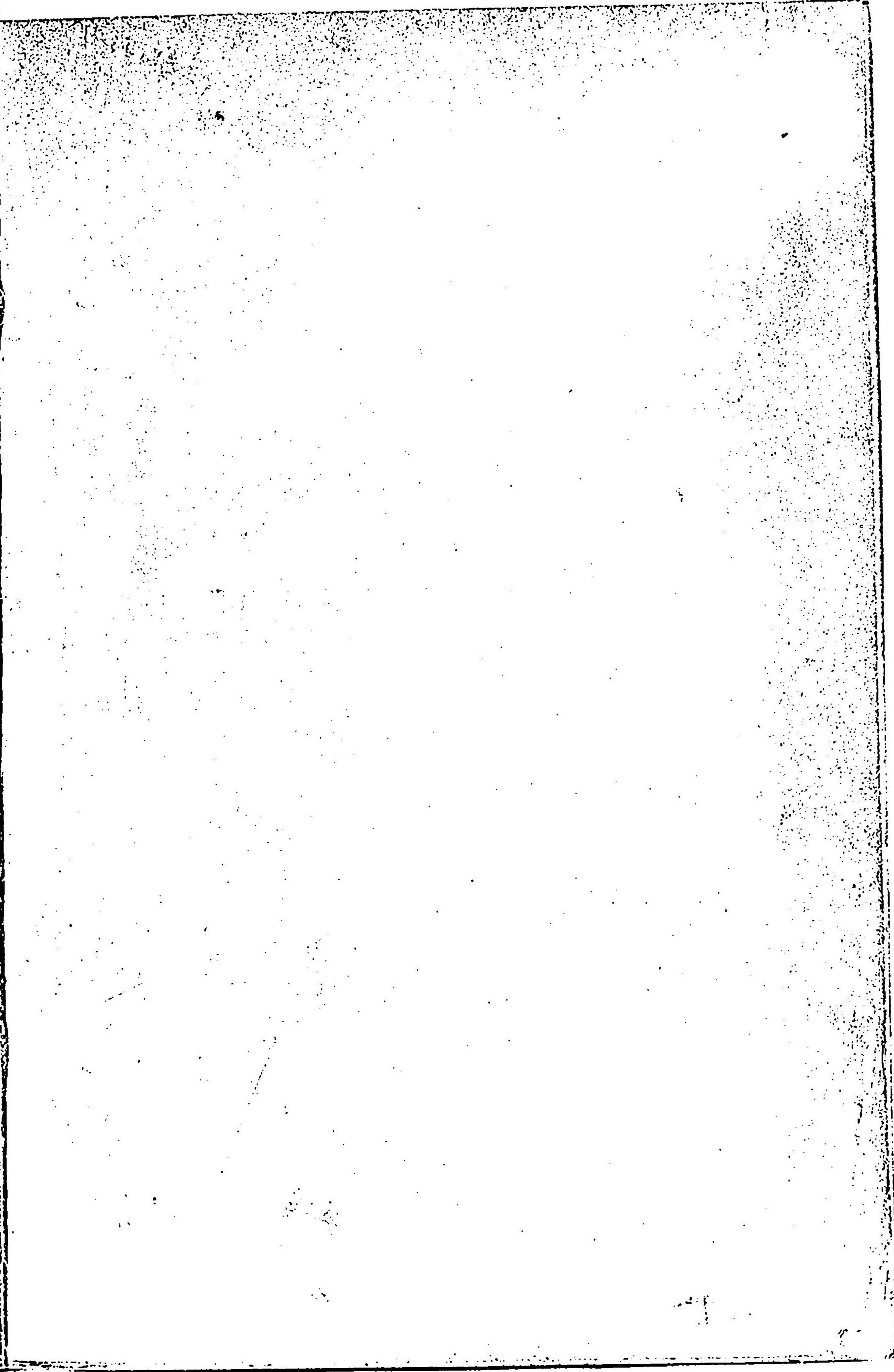
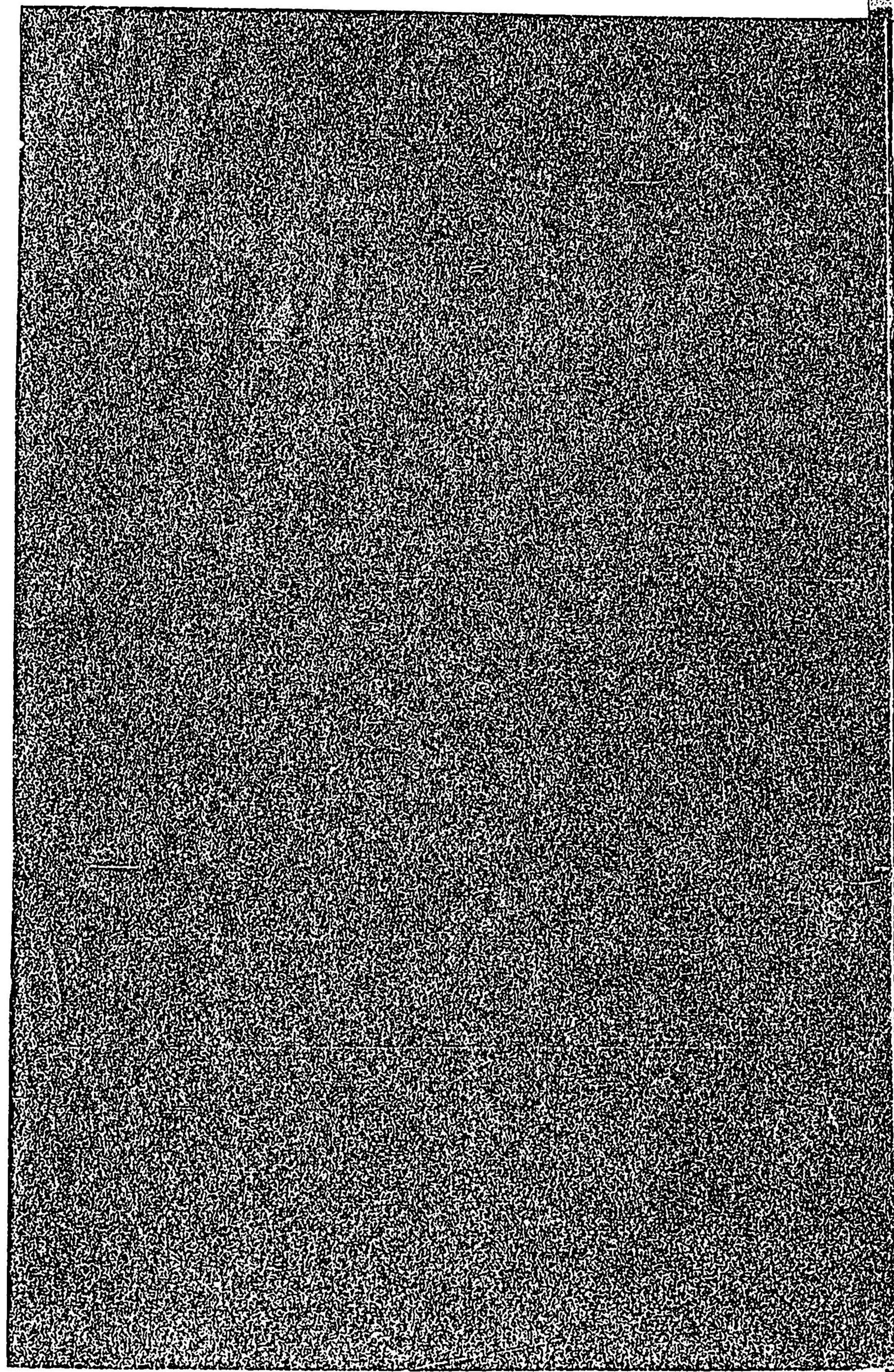
明治二十七年四月十八日印刷  
明治二十七年四月十九日發行

印刷兼發行者

外務省通商局第二課

Vertical text columns on the right page, likely containing the main content or a list of items. The text is very faint and difficult to read.







法



